



小企画展

# 堀江友聲

ほりえゆうせい

## 展の”その後“展



2026

4/23木 - 6/8月



島根県立美術館

2階・コレクション展示室5

1《郭子儀図》個人蔵／2《牡丹に蝶図》当館蔵(2021年度購入)／3《龍図》当館蔵(2025年度寄贈)／4《孔雀図》当館蔵(2024年度購入)／5《牡丹に孔雀図》当館蔵(2021年度購入)／6《紫陽花に鶏図》個人蔵／7《写生帳》個人蔵(2019年度当館寄託)／8《迎接曼荼羅》祥雲寺(大東町)蔵  
(※画像はいずれも部分)

# 新発見

二〇一九年の友聲展では本図の下絵を展示しており、その本画(完成品)として新たに発見されました。



《紫陽花に鶏図》個人蔵

# 新収蔵

いずれも二〇一九年の友聲展に出品された花鳥画の優品で、二〇二二年度に当館に収蔵されました。



《牡丹に孔雀図》当館蔵(2021年度購入)



《牡丹に蝶図》  
当館蔵(2021年度購入)

本展では、二〇一九年の友聲展のその後における、友聲作品の収集、調査・研究の進展を紹介します。展覧の場だけではなく、美術館が担う多様な役割にも注目いただければ幸いです。

(\*友聲は最晩年に「堀江」を「堀江」へ改姓し現在に至る)



堀江友聲(一八〇二—一八七三)

は鳥根県を代表する近世画家で、かつて当地で絶大な人気を誇りました。その友聲に関する回顧展として、当館で二〇一九年に開催したのが「堀江友聲(堀江)に挑んだ出雲の絵師」でした。本展は友聲に関する三十六年ぶりの大規模展で、県内外から多くの方が来館し、改めて友聲に注目いただく機会となりました。

このような展覧会の意義は、知る人ぞ知る画家の顕彰という側面だけではありません。本展を機に県内外から様々な情報が寄せられ、知られざる友聲作品が発見されました。それに伴い、購入や寄贈による友聲作品の収集、作品や資料の寄託も進みました。特に友聲に関する重要資料「堀江家伝来資料(\*)」(約二四〇件)の寄託とその調査により、友聲の実像が少しずつ明らかに近づいていきます。

# 再発見

かつてその存在が知られていなかった友聲を代表する孔雀図で、二〇一九年の友聲展を機に所在が判明しました。



《孔雀図》当館蔵(2024年度購入)

# 新事実



《山鳥図[堀江家伝来資料]》  
個人蔵(2024年度当館寄託)

当館へ寄託された「堀江家伝来資料」は友聲研究における第一級の資料群。調査研究により新たな友聲の側面が明らかに。

《迎接曼荼羅》

祥雲寺(大東町)蔵

友聲の郷里・大東の寺院に伝わった壮麗な仏画で、知られざる郷里での活動や人脈の一端が分かりました。



【開館時間】10時～日没後30分(展示室への入場は日没時刻まで)

【休館日】火曜日(ただし5月5日開館)

【観覧料】(コレクション展) 一般:400円/大学生:260円/小中高生:無料

【会場】鳥根県立美術館2階・コレクション展示室5



〒690-0049 鳥根県松江市袖師町1-5

TEL.0852-55-4700

<https://www.shimane-art-museum.jp>